

科目名		開講時期	開講学年	◎/ 選	1 単位 (30h)
成人看護学経過別実習Ⅱ		通年	3		
担当教員名	電子メール	オフィスアワー			
※中村織恵・須田利佳子・ 荒木玲子・外館真理子	rie.nakamura@tohto.ac.jp	中村/金曜日 12：35～13：00			
授業の概要					
主として慢性的経過をたどる疾患・障害により治療を要する対象、並びに終末期にある対象への看護を通院治療並びに緩和ケア実習病棟での見学実習を通して学ぶ。成人期にある対象が健康障害とともに生活していくための支援や、健康障害をもちながらその人らしく生活していくための支援に関する基礎的な看護を学ぶ。					
キーワード		到達目標			
慢性疾患 継続治療 終末期 緩和ケア 外来透析療法 外来化学療法 退院調整 見学実習		1. 継続的な治療を要する慢性疾患をもつ対象者および緩和ケア・ターミナルケアを必要とする対象者に対する医療体制がわかる。 2. 継続的な治療を要する慢性疾患をもつ対象者（患者と家族）および緩和ケア・ターミナルケアを必要とする対象者に対する看護の実践を体験し、対象者の特徴に応じた看護の特徴がわかる。 3. 継続的な治療を要する慢性疾患を持つ（患者と家族）および緩和ケア・ターミナルケアの場における看護に対する自己の考えをまとめることができる。 4. チーム医療の実践を学び、チームメンバーの役割と連携について説明することができる。 5. 学生として責任のある行動をとり、看護専門職として望ましい態度を身につけることができる。			

授業の計画・形式					
第1週	継続的な治療を要する慢性疾患を持つ対象者への看護が提供されている場（外来透析室、外来化学療法室、退院調整室等）もしくは緩和ケア病棟での看護の実際を見学・体験する。見学した内容から慢性期看護・終末期看護について考察し、カンファレンスにて共有する。見学実習、カンファレンスを通して看護に対する自己の考えをまとめ、レポートする。				
教科書、参考書					
教科書	実習オリエンテーションにて提示する。				
参考書	実習オリエンテーションにて提示する。				
先修要件					
基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ、成人看護学概論、成人看護学援助論Ⅰ、成人看護学援助論Ⅱ、成人看護学援助論Ⅲの単位を修得していること。					
成績評価					
本試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・演習）	その他	合計
%	%	%	%	実習 100%	100%
担当教員からのメッセージ					
本実習はこれまで学習した知識をもとに、外来透析室・外来化学療法室・退院調整室等、地域で生活しながら治療を続ける患者を支える看護の実際や、緩和ケア病棟での終末期看護の実際を見学します。見学実習は見える事実だけを見てくる実習ではありません。受け身で臨むのではなく、実際の場面を意図的に見て、確認し、その事実を自ら考え、理解をするように努めましょう。					